

機械器具 48 注射筒

一般医療機器 汎用注射筒 13929001

（精密投与皮下注射用注射筒 35904000、ツベルクリン検査向け皮下注射用注射筒 35391000、麻酔用注射筒 35387001）

ニプロシリンジ

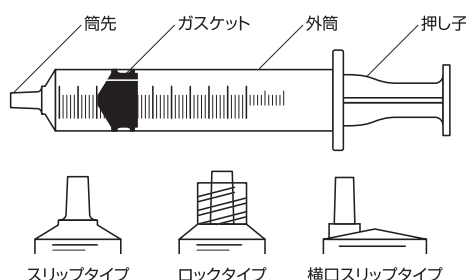
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止
- 造影剤等の高圧注入には使用しないこと。【破損等の恐れがある。】

【形状・構造及び原理等】

本品は外筒、押し子、ガスケットからなる。



【使用目的、効能又は効果】

液体又はガスを注射・注入するか引き抜くために用いる器具をいう。通常、プラスチック製で、目盛付の容器及び押し子から成る。注射針を用いて薬剤の投与又は採血に用いることが多い。

【操作方法又は使用方法等】

1. 本品の包装を開口部より開き、注射筒の方を持ち、包装から取り出します。滅菌されているのでそのまま使用できます。

<使用方法に関連する使用上の注意>

1. シリンジポンプを使用する場合は、シリンジポンプのメーカーに適用の可否を確認して下さい。
2. シリンジポンプを使用する場合は、シリンジポンプの添付文書及び取扱説明書を確認後、使用して下さい。
3. 他の医療機器と併用する場合は、確実に接続又は取り付けられていることを確認して使用して下さい。
4. 注射針の装着は無理な力をかけずに行って下さい。
5. ロックタイプを使用する際、ロック部ネジを必要以上に回さないで下さい。
6. 接続部に薬液又は血液を付着させないで下さい。【接続部の緩み等が生じる可能性があります。】
7. コネクター等と接続する際、筒先に横方向の力を加えないで下さい。【筒先の湾曲や破損等が生じる可能性があります。】
8. 本品の筒先には直接手を触れないよう注意して下さい。
9. 本品に強い力を加えないよう注意して下さい。【破損する可能性があります。】
10. 接続部からの液漏れ等の異常が認められた場合は使用しないで下さい。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 包装が破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。
2. 使用するにあたって、目的とする製品であることを確認すること。
3. 包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意し安全な方法で処分すること。

4. 併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、それぞれの使用方法、使用上の注意に従って使用すること。
5. あらかじめ接続部に緩みがないことを確認してから使用すること。使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、薬液漏れ及び詰まり等について、定期的に確認すること。
6. ルアーキャップがはずれたり、緩んでいる場合は、確実に固定すること。
7. 押し子はまっすぐ引くこと。【斜めに引くと、ガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れ、空気混入又はガスケットの外れが生じる可能性がある。】
8. 外筒印刷部の目盛を越えて押し子を引かないこと。【押し子が外筒から抜けて液漏れ、空気混入が生じる可能性がある。】
9. ガスケットに針等で傷をつけないこと。【破損が生じ、液漏れ、空気混入及び摺動抵抗の増加が生じる可能性がある。】
10. 本品を鉗子等でつまんで傷をつけないように、さらに、はさみ等の鋭利なもので傷をつけないように注意すること。【液漏れ、空気混入や破損が生じる可能性がある。】
11. 外筒部を強く握る等、圧迫するような負荷を加えないこと。【圧迫によりガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れや空気混入が生じる可能性がある。】
12. コネクターを接続する場合は、過度な締め付けをしないこと。【コネクターが外れなくなる又は、コネクターが破損し、接続部からの液漏れ、空気混入が生じる可能性がある。】
13. 外筒印刷部をこすったり、あるいは薬液がついた状態で放置しないこと。【目盛等の印刷部が消える可能性がある。】
14. 注射針等を接続し使用する場合には、誤刺に注意し慎重に取り扱うこと。
15. 透析装置等の医療機器に装着して使用する場合は漏れに注意すること。
16. 運搬・操作時には、振動や衝撃に注意すること。
17. 低温下の衝撃で破損する危険があるため、低温時の取り扱いに注意すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法
水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
2. 有効期間・使用の期限
外箱の使用期限欄を参照のこと（自己認証による）。

【包装】

25、50、100本／箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号

電話番号：06-6372-2331（代表）

製造

ニプロ株式会社